

會 告

一 本會事務所(學校前舍宅)は設備漸く整ひすでに御來訪宿泊されし會員二十數名有之候。諸彦御來校の際は是非共本事務所に御來訪下され度候。只今之上野榮仁、須田圭二、齋藤菊雄、武井克巳、小見益雄、大井學、長池遊龜の七名宿泊致し居り候。

二 本校寄宿舎本舎に立會山直高君、東寮には吉野健吉君が宿泊致し在校生との圓滿連絡を圖る爲めに努力致し居候。

三 事務所には會員名簿を作製常備致し會員の原籍は勿論勤務地の變動迄一一之を記録致度準備致し候故會員の移動はその都度必ず御一報被下度願上候。

四 校友會會報第六號附録にて、御紹介願ひ置き候處の同窓生異動原簿作製の件未だに御回答下さる方有之

候に付き整理の都合上別封端書に母校卒業後現今に到る迄の異動を端書相當欄に御記入下され至急御回答下され度願上候。

五

本年十二月校友會雜誌第七號發行の豫定に有之候間諸彦振つて御投稿有之度旨委員より希望有之候。締切は十月三十日に候。論説、調査研究事項、詩文、何れを問はず盛に御投稿有之度候。原稿用紙御希望の方は校友會文藝部宛御申越次第御發送可仕候。

六

大正八年三月新たに會員とあられし諸君は養蠶科二十八名、製絲科十九名、選科養蠶三名、製絲一名に有之候。

七

本年三月十五日第六回卒業式當日午後六時より例によりて懇親會を開き大いに快談致し候。當日出席會員氏名は次の如くに候。

原田 兵衛	篠田 平三郎	絹村 貢	小林 茂樹
戸倉 八峰	伊藤 競	白澤 幹	須田 圭二
平澤 勝	後藤 宰一	林 新一	弓田 弘

北澤 茂 横田 節樹 吉野 健吉 三橋 宣夫
 兒玉 忠雄 飯島 正胤

八

昨年八月以降前途有爲の志を抱いて遂に黄泉の客となられし同窓生實に六名を以て數へ哀悼寂寥の感に堪へず候。同窓會にては通知あるや直に弔電を發し後に至つて香奠と共に弔文を送る事に致し居り候。又附近に他の同窓生ある時は其人が同窓會を代表して葬儀に列する様致し居り候。

故萩野巖君弔慰金

六 圓 六 拾 錢 (養蠶科第二回卒業生一同)

右委員の不注意到依り脱落仕り候へば此所に追加掲載致し候。

故新宮源八君香奠(大正七年八月)

參 圓 宛 宮 下 雅 敏

貳 圓 宛 藤 澤 文 雄 中 澤 周 藏

壹 圓 宛 清 宮 保 稻 石 榮 太 郎 高 田 茂 重 郎 野 澤 泰 治

佐藤 正己 伊藤 競 小林 茂樹 稻石 佐一

林部 源三郎 松井 清三 見波 忍 遠藤 文平

酒井末吉 井上保三 伊藤柳作 田口敏夫

田中一男 清水二郎 山浦藤藏 西村敬之助

水野健吉

七拾錢宛 森 干城

五拾錢宛 久保田 正樹 大塚 成幹 伊藤 清 宮田 鉄五郎

中川 熙 加藤 徳四郎 小林 茂雄 堀江 尙

朝倉 昇 山本 辰五郎 篠原 善次 秋山 俊興

永井 榮 坪井 作平 土岐 宣治 佐藤 金六

朝長 勝治 丸山 俊一郎 篠田 平三郎 上野 榮仁

松村 季美 岸 勝彌 向山 紀元治 松澤 徳榮

田附 由次郎 堀越 田治 高須 兵司 北澤 茂

參拾錢宛 菅澤 隆三 佐々木 峯二 大町 省三 兒玉 忠雄

合計 金四拾參圓九拾錢

內譯 四拾參圓五拾錢 贈山形縣松嶺町新宮由次郎氏(義父)

參拾錢 爲替料(二回分)

貳拾錢 書留料(二回分)

敬水野米太郎君香奠(大正七年十一月)

貳圓宛 水島 由太郎 在三龍社一同 宮下雅敏 篠田平三郎

壹圓宛 岡郷彌平 朝倉昇 鶴田定平 遠藤文平

森 干城 清宮保 佐谷戸健次郎 高須兵司

篠原善次 高木三治 見波忍 高須兵司

藤澤文雄 市川恕平 絹村貢 稻石佐一

堀越彌策 花岡作彌 佐藤尙雄 飯嶋直

本間直人 上原清夫 酒井末吉 向山隆福

牧野金次郎 栗林悅 松村季美 田中敬三

中澤周藏 西村敬之助 田附卯一郎 松野正一

田口博輔 小林國造

七拾錢宛 菅澤隆三

五拾錢宛 倉澤美徳 堀江尙 高田茂重郎 久保田正樹

中山鑑一 山本辰五郎 大河原佐之助 北澤茂

青木 針三郎 岸 勝彌 加美好男 伊藤柳作
 矢澤 茂登一 清水 達太郎 黒江 文雄 吉村眞作
 塚田 柁春 川合 軍之助 竹内 五之助 須田 今三
 飯島 正胤 須田 圭二 松澤 德榮 田中 一男
 朝長 勝治 大町 省三 高島 秀男 上野 榮仁
 向山 紀元治 戸倉 八峯 兒玉 忠雄
 參拾錢宛 佐々木 峯 二

合計金五拾六圓五拾錢

内譯 五拾六圓拾錢 贈朽木縣小山町水野久八氏(實父)

參拾錢 爲替料

拾參錢 書留料

故中川瀨君香奠(大正八年二月)

貳 圓 在三龍社同窓生一同

壹圓宛 水島 由太郎 塚田 鎮磨 甲斐 孜 原田 侃
 三輪 愿 岡部 彌平 伊藤 喜平 中島 靜太郎

栗原忠夫 大崎忠一 永井榮

七拾五錢宛

菅井辰三郎

六拾六錢宛

田浦準 生絲検査所同窓生一同

五拾錢宛

久保田嘉一郎 須田圭二 林貞三 岸益吉

坪井作平 大島秀 峯村壽命 湯淺長輝

飯島正胤 戸倉八峯 大河原佐之助 細川三郎

遠藤文平 松村季美 佐藤尚雄 丸山俊一郎

齋藤格次 田中一男 原田兵衛 木脇寅熊

上野榮仁 兒玉忠雄 西村敬之助 田附卯一郎

松野正一 久保田正樹 山本辰五郎 堀江尚

野澤泰治 矢田部忠吉 吉澤武夫 加美好男

橋本景吉 唐澤正平 岸勝彌 小林國造

竹内五之助 松尾順策 小川保 都築賢吉

舟越重勝 宮入誠一 三輪輔 佐々木峰二

今井田福雄 田村三郎 向山紀元治 戸田勝一

高 島 秀 男

四拾錢宛 竹 内 眞喜雄

參拾參錢宛 (甲斐肇野崎清) 佐藤 良太郎 井 上 一 郎

參拾錢宛 前田 豊 一 長 瀬 深 見 須 田 國 之 助 吉 野 健 吉

森 干 城 折 茂 正 太 郎 須 田 今 三

貳拾五錢宛 松 澤 德 榮 井 谷 信 一 小 澄 晋 福 田 礦 之 助

木 内 保 平 太 田 清 藏 堀 越 田 治 田 附 由 次 郎

貳拾錢宛 穂 坂 小 牧 藤 原 卓 之 佐 藤 國 一

合 計 金 四 拾 五 圓 六 拾 六 錢

内 譯 四 拾 五 圓 四 拾 錢 贈 山 口 縣 長 府 町 中 川 太 郎 氏 (實 父)

貳拾錢 爲替料

拾 錢 書 留 料

故 森 國 彦 君 香 奠 (大 正 八 年 二 月)

貳 圓 宛 小 湊 潔 在 三 龍 社 同 窓 生 一 同

壹 圓 宛 水 島 由 太 郎 田 中 熙 長 見 公 祐 塚 田 鎮 磨

七拾五錢

六拾六錢宛

五拾錢宛

甲斐 攷 原田 侃 三輪 愿 岡部 彌平
 松尾 順策 伊藤 喜平 中島 靜太郎 武藤 俊治
 都築 賢吉 田村 三郎

菅井 辰三郎
 田浦 準
 在生絲検査所同窓生一同

久保田 嘉一郎 須田 圭二 林 貞三 岸 益吉
 土岐 宣治 坪井 作平 佐藤 金六 大島 秀
 峯村 壽命 湯淺 長輝 飯島 正胤 戸倉 八峰
 細川 三郎 遠藤 文平 松村 季美 佐藤 尚雄
 栗原 章 丸山 俊一郎 齊藤 格次 須田 國之助
 佐々木 二郎 田中 一男 原田 兵衛 白澤 幹
 樋口 琢麿 木脇 寅熊 上野 榮仁 三橋 宣夫
 兒玉 忠雄 西村 敬之助 田附 卯一郎 松野 正一
 久保田 正樹 山本 辰五郎 堀江 尚 野澤 泰治
 矢田部 忠吉 吉澤 武夫 加美好男 橋本 景吉

唐澤 正平 岸 勝彌 小林 國造 竹内 五之助

小川 保 舟越 重勝 栗原 忠夫 近藤 正己

宮入 誠一 三輪 輔 須田 今三 大崎 忠一

今井田 福雄 濱井 壽夫 永井 榮 向山 紀元治

戸田 勝一 高島 秀男

四拾錢 竹内 真喜雄

參拾參錢宛 (甲斐摩野崎清) 佐藤 良太郎 井上 一郎

參拾錢宛 前田 豐一 長瀬 深見 森 干城 折茂 正太郎

丹羽 清義 佐々木 峰二 吉野 健吉

貳拾五錢宛 松澤 德榮 井谷 信一 大河原 佐之助 小澄 晋

福田 礦之助 太田 清藏 木内 保平 堀越 田治

田附 由次郎 藤原 卓之 佐藤 國一

貳拾錢宛 穗坂 小牧 藤原 卓之 佐藤 國一

合計金五拾五圓四十一錢

內譯 五十五圓 贈鹿兒島縣大島郡東方村森賢省氏(實父)

參拾錢 爲替料

拾 鏡 書留料

故池田泰男君香奠(大正八年二月)

貳圓宛 在三龍者同窓生一同 小湊 潔

壹圓宛 長見公祐 塚田鎮磨 三輪 愿 岡部彌平

松尾順策 伊藤喜平 都筑賢吉 田村三郎

森山二郎 小山久一

九拾錢 戶手蠶業講習所同窓生

六拾六錢宛 田浦 準 在生絲検査所同窓生一同

五拾錢宛 須田圭二 林 貞三 峯村壽命 飯島正胤

戶倉八峯 細川三郎 大島 秀 佐々木二郎

白澤 幹 樋口琢磨 木脇寅熊 父母仙藏

上野榮仁 三橋宜夫 兒玉忠雄 久保田正樹

堀江 尙 吉澤武夫 唐澤正平 岸 勝彌

竹内五之助 中島靜太郎 小川 保 丹羽清義

武藤俊治 舟越重勝 今井田福雄 永井榮

向山紀元治 戶田勝一 伊藤勢龜 須田國之助

西村敬之助

參拾參錢宛 (甲斐壘野崎清) 佐藤良太郎 井上一郎

參拾錢宛 井谷信一 前田豊一 長瀬深見 吉野健吉

佐々木峰二 須田今三

貳拾五錢宛 大河原佐之助 堀越田治 田附由次郎

貳拾錢宛 穗坂小牧 藤原卓之 佐藤國一

合計金參拾六圓八拾六錢

內譯 參拾六圓五拾錢 贈北佐久郡中佐都村池田喜三郎氏(實父)

貳拾錢 爲替料

拾錢 書留料

敬大崎忠二君香奠(大正八年四月)

貳圓 在三龍社同窓生一同

壹圓宛 水島由太郎 矢田部忠吉 今井田福雄 岡部彌平

田浦 準 細川 三郎 遠藤 文平 大河原 依之助

栗原 忠夫 一志 藏人 向山 紀元治 竹内 眞喜雄

酒井 五十三 小岩井 桂三 高尾 歳次 西村 敬之助

塚田 鎮磨

七拾錢 甲斐 肇

五拾錢宛 倉澤 美德 太田 清藏 木内 保平 高田 茂重郎

大島 秀 佐々木 峯二 久保田 嘉二郎 鈴木 鍊一

高島 秀男 見波 忍 朝長 勝治 吉野 健吉

川合 軍之助 須田 今三 工藤 一二三 戸田 勝一

磯野 良知 湯淺 長輝 松尾 順策 都筑 賢吉

加美 好男 竹内 五之助 伊藤 柳作 小川 保

秋山 俊興 須田 圭二 唐澤 正平 齋藤 格次

上野 榮仁 飯島 正胤 兒玉 忠雄

參拾錢宛 藤原 卓之 井谷 信一 市村 幹司 神保 喜久

森 干城 野崎 清

合計金 參拾七圓也。

内譯 參拾六圓五拾錢 贈崎玉縣浦和町一四〇大崎辰馬氏(實父)

拾五錢 振替登記料

貳拾錢 爲替料

拾錢 書留料

本部狀況

教職員及び會員の任免移動左の如くに候。

新樂先生は昨年十月休職となり、御子息工學士新樂顯理氏本年四月講師を囑託せられ候。昨年十一月樋口琢磨君横須賀重砲隊に入營せられ、十二月に平澤勝君助手として化學部に入られ候。本年に入りては二月白澤幹君母校を辭して上田原蠶種製造所に入られ、四月には齋藤菊雄君、古東幹太君、武井克巳君、五月には長池遊龜君、小見益雄君助手として母校に入られ候。あの外齋藤格次君、大井學君も母校に在勤せられ候。三橋宜夫君は二月に助手を命せられ五月に横須賀重砲隊に第一次勤務をせらるゝとふとと相成候。